

平成25年度 共通実施項目監査 個別所見

(1) 特に良かった点 (◎)

対象番号	対象名	設問番号	所見
1	町長	2	限界集落にも運行している町のデマンドバスについて、野菜や作物の集荷も同時に利用できるよう検討を指示され、貨物輸送の規制緩和について国に対して愛媛県を通じて要望しているとのことでした。山間部の高齢者の耕作意欲や生きがいの維持、農地保全、運輸部門CO2削減等の効果が期待できる良い政策であると思います。こうした地域の実情とニーズに合った良い政策の推進を指示されている点を評価します。
3	教育長	6	副読本『ふるさと』を教材として有効利用し、小学4年生から中学3年生まで一冊の本を通して環境教育を向上させています。
12	建設デザイン課	18	ボランティアで組織する愛リバーサポーター、愛ロードサポーター制度、また里親制度を活用し、地元自治会、建設・土木業者と協働した取り組みが見られました。関係する職員、民間事業者、自治会の環境に対する意識も高い点を評価します。
12	建設デザイン課	27	景観評価委員とともに景観研修として部署全員が関わり、町外の先進地へも積極的に研修に出向き、町内の環境を保全・創造するために実行、実践していることを大いに評価します。
14	環境政策室(集合)	20	不法投棄や水質汚濁、スズメバチなど多くの様々な苦情や相談に対し、迅速に対応されていました。
26	五城保育園	18	「ぎゅっと君エコ隊」による見廻りや、リサイクルの歌、劇など子ども達が進んで取り組んでいるところが素晴らしいです。
26	五城保育園	28	・とうちゃんの会が、物置になっていた元飼育部屋を改良しました。地域の人と一緒に作った独自の工夫として素晴らしいです。 ・町内の5園が考え協働して県のテーマ「園庭を使って体力づくり」に取り組んでいました。
35	立川幼稚園	27	水辺のつどいのイベントに参加し、川魚の生態を学び食し、高齢者から園児までの交流を行い、川の清掃など、環境に配慮したつどいを体験しました。今年度は移動水族館、移動動物園も体験できて地域の絆の中で行われました。
42	石畳小学校	18	水車祭りでは炭焼きを行っている地域住民から炭の端材を貰い受け、デコレーションして販売していました。経済感覚を身につけさせる意味もあり、良い取り組みだと思います。
45	御祓小学校	28	棚田で子ども達が稲作の体験ができたことは泉谷地区棚田を守る会の協力によるところが大きいです。また、閉校ということで改めて地域の光景を子ども達の目に焼き付けておいてほしいと、10/28に御祓探検、11/12には雲海を見に行くなど、地域の良さを活かした活動をされていました。
46	参川小学校	18	環境教育プロジェクトについて、昨年は5、6年生だけで行っていた水生生物調査ですが、今年度、閉校の年ということで幼稚園児、1～6年生、保護者が参加し、より多くの人が小田川の自然と触れ合えたことが良かったです。また、運動会を自治会と協働で行うことで昨年よりも活気があり、地域との結び付きも強くなったと思えます。
48	田渡小学校	27	稲作やそばの栽培を行い、収穫物を用いて地域の交流活動を行っていました。
50	大瀬中学校	8	前回の改善措置がきちんととられていました。指導者の意識の変化が全ての取り組みの向上につながっているようです。
50	大瀬中学校	25	川下りをする際、川に落ちている金属などの清掃活動をし、地域住民と協働の活動が出来ていました。
50	大瀬中学校	26	そば打ち体験や柿まつりを通じ、地域とのつながりが広がっています。
53	内子給食センター	18	所属別独自目標の全ての取り組みをクオリティの高いレベルで行っていました。 ・町内産食材に関しては、毎日、産地、各重量を測り、重量%で50%を超えるように取り組みを進めていました。 ・食育に関しては、町内産のえんどう豆を自分達で処理することで、手間や苦勞について学んでもらい、好き嫌いせずに全部食べてもらうなどの取り組みをしていました。

57	内子東自治センター	25	石畳を思う会:自治会制度発足以前からの団体との活動協力があります。 論田自治会:小水力発電等、新しいことに取り組んでおられました。
57	内子東自治センター	26	立川の森保全の会や、城廻自治会の活動への協力体制が伺えました。特に城廻自治会が花を販売するコミュニティービジネスに期待します。
59	五十崎自治センター	28	・環境NPOサン・ラブの協力により自治センター2F 奥階段に太陽光バッテリーを設置。 ・緑地公園のトイレをLED化。 ・水道口径を30に変え、水道料金を削減。
62	みどり苑	28	家族会議(畑で野菜を作り、入居者とともに農作業をする)、買い物事業、さくら祭りでのボランティアや婦人部との取り組み、また、立川防災組織や自治会・消防団と協働で防災訓練等の実施をしている点が特に評価できるものでした。

(2) 改善要望事項 (△)

対象番号	対象名	設問番号	所見
4	総務課	47	付箋が可燃ごみ箱に入っていました。入っていたのが印刷室のごみ箱だったため、他部署の職員が入れた可能性もあることを考慮して△と評価しました。
43	五十崎小学校	47	職員室のごみ箱の1つに、リサイクルに回すべき紙の混入がありました。ごみ箱とリサイクル用の入れ物が隣接していたので、配置や入れ物の大きさを変えることで、見分けが付きやすくなるかもしれません。

(3) 勧告事項 (×)

該当なし

(4) 良かった点

対象番号	対象名	所見
2	副町長	エコオフィス推進委員会の内容について、昨年度のエネルギー使用量などをしっかりと把握しておられました。
3	教育長	町内産材をふんだんに使用した小田(小・中・幼)校に加え、生徒、児童全員に木製机を与えている事業が良いです。
4	総務課	地域住民が主体となり移住サポーターとして活動しようとしていました。
6	住民課	・玄関口にあり寒いため、ひざ掛けを利用していました。 ・地域の活動によく参加されているようでした。 ・転入者に対して環境基本計画の説明を継続していました。
7	うちこ福祉館	城廻自治会の花いっぱい運動と連携して取り組みを行っています。各事業において、地産地消を心がけています。施設利用者と職員がうまくかみ合っており、環境に対する意識など、利用者も意識が高いように思いました。職員がお手本となっています。年末大掃除には、利用者約30名も参加するなど協力体制も整っています。環境配慮チェックシートも回収率100%です。独自目標もしっかり把握しており、意識の高さが伺えます。
12	建設デザイン課	担当課長の積極的な取り組み、実行力を大いに評価します。地域自治会、請負事業者及び民間事業者と連携が充分図られています。
13	環境政策室(現場)	・全体的に良好に取り組まれていると感じました。 ・蜂の巣駆除や不法投棄対応等、迅速に対応されているという実感が住民にあります。良い対応をされていると思います。 ・副読本作成過程で、住民団体や事業者の主な環境活動をまとめられていました。引き続き活動の把握に努めてください。
16	町並・地域振興課	・泥棒が入りにくい、長持ちする、CO2削減、景観的に良いなどのメリットがある生垣を増やしたいという計画は良いと思いますので、ぜひ進めていってください。 ・「内子座物語をつくろう」という活動は今後に期待します。

18	ビジターセンター	全員が集まるのが難しいので、職場研修ができないとのことでしたが、独自に月1回、気づいた情報を回覧するなど、工夫して職場に合った活動ができていました。業務用に自動車ではなく自転車を購入して活用していました。
26	五城保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達と一緒に環境への取り組みがされていました。 ・地域の方と一緒に環境に優しい遊具を作っていました。 ・地域との協働が広がっていました。 ・アンケートを実施、集計し、課題を見つけ、そこから取り組んでいることが素晴らしいです。 ・保育園、幼稚園間の連携が密に取られていました。
31	内子児童館・子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・笹飾りの不要な花紙を保育園・幼稚園にも配布し、おこぼし拾いとして活用しています。 ・たけのこ母親クラブの協力が厚く、協働の活動があります。 ・出入りする業者との関係が良く、エコの情報をもらっています。 ・まちの駅「なんぜ」で使用したプラスチックのコップを工作などに再利用しています。
32	五十崎児童館ささら	職員の意識改革が大事だと、環境学習会に職員一人ずつが参加し、それを元に職場の目標を決めたことで意識が高まっています。リサイクルに力を入れ、廃油、アルミ缶の回収、バザーに出す品の提供、さらに公園清掃にも地域の方々が協力しています。全体的に大変良く取り組まれており、◎に近い○です。
35	立川幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・所属別独自目標として、園児と保護者と地域住民で野菜作りをし、調理し、食すことでコミュニケーションが出来ていて、素晴らしいことだと思います。 ・夏には水不足の中で排水するプールの水をグリーンカーテン、草花の水に再利用しています。 ・昨年より指摘されたトイレの悪臭も、えひめ AI-1を使用して改善しました。
37	参川幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳パックをリサイクルして園児の遊具に活用するのは良い取り組みだと思います。 ・エコについても、アンケート調査によって啓発が行われており、良い取り組みです。
42	石畳小学校	小学校での環境活動を広報紙にまとめ、地域の住民に配布することで、地域内での環境に関する意識の啓発にもつながる良い取り組みだと思います。
43	五十崎小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の監査での指摘に対し、確実に是正されていました。 ・エコトーク(県と印刷業者による環境書籍の紹介等)やハイブリット車の紹介、家電メーカー(シャープ)の出前授業など、外部の協力を上手に得て、環境教育に活用されていました。 ・エコトークの景品(裁断端材のメモ用紙等)を新入生の保護者に配る際に、「五十崎小ではエコ学習に取り組んでいます」と学校のスタンスを家庭での協力を求める旨の発信をされていたのが良かったです。
45	御祓小学校	児童数減少による来年3月末閉校にあたり、泉谷棚田を守る会の上岡満栄さんが孫娘の在学中に校長から協力を依頼されたことをきっかけに始まった稲作教育のお礼にと、児童が棚田の生きものや田植えの感想などをポスターにまとめ「みんなの棚田新聞」を上岡さんに贈呈しました。
48	田渡小学校	自然プロジェクトが特に優れており、大洲農業高校との交流活動も良い取り組みだと思います。休耕地を利用したさといも作りや、全校児童が自分の畑(マイファーム)をもつなど、農業を通じた環境への取り組みが大変素晴らしいです。
50	大瀬中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネルを活用し、それによって生徒達の意識が変わってきていることが良かったです。 ・子どもが自主的に活動を行っています。子ども達なりの意見・考えをもっています。 ・指導者の意識が変わったことで、取り組みの質が向上しました。
52	小田中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を巻き込んで、アルミ缶・牛乳パックの回収を数値目標を掲げて実践していました。 ・出入業者への環境配慮要請で段ボールのホッチキスを使用しないよう要請しています。文房具もグリーンマークを指定していました。
53	内子給食センター	資源ごみとして搬出していた空き缶を環境NPOサン・ラブからの提案でサン・ラブのところでリユースするという取り組みは素晴らしいと思います。今後、給食センターで取り組み可能な活動を広げてほしいと思います。

59	五十崎自治センター	<ul style="list-style-type: none"> ・自然プロジェクトの7/15 川まつりでは346名の親子参加者があり、川辺や生きものの命を体感しました。 ・小田川堤防フラワーロード、コスモス鑑賞会、花いっぱい美化、自治会と環境部センターとしての相談所などの活動を行っていました。
60	小田自治センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル工作を企画し、好評であったため継続することでした。 ・地域づくり計画に環境面を盛り込んでいました。 ・独自目標の進捗状況が良かったです。
61	社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・管轄の内子幼稚園のエコ見回り隊が園内にとどまらず、分庁舎にも見回りに行くという取り組みが大変良かったです。 ・管轄施設に積極的に町内産木材を使用した遊具や BDF ボイラーなどを導入している点も良いと思いました。
62	みどり苑	施設でのイベント活動等、地域とのつながりを意識した取り組みが出来ていると思いました。
63	神南荘	自然プロジェクトがしっかりと実施できています。町内・県産品の食材料を60～80%使用できています。河川環境のことも考えられています。
64	内子フレッシュパークからり	生産者が施設内の落ち葉を持ち帰り、堆肥として利用することでうまく資源を循環させています。
65	小田の郷せせらぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の大工さんの協力を得て、グリーンカーテンの架台を2か所整備されました。地域住民と連携している点が良いと思います。 ・廃棄野菜の持ち帰りについて、その野菜の出荷者に限らず、別の出荷者が手分けして持ち帰り、有効に利用されるという好循環が形成されるケースが確認されました(廃棄野菜→鶏のエサ→卵の出荷など)。
66	事務局	パソコンモニター電源についてエコオフィス推進会議で検討され取り組み内容が整理されたこと、環境負荷発生量の報告様式を見直されたことは良かったです。

(5) 総合コメント・その他

対象番号	対象名	所見
2	副町長	再生可能エネルギーの推進について、「自治力を高めるには自治体だけでなく、自治会レベルでも再生可能エネルギーに取り組む必要がある」という京大の先生のお言葉を引用されていました。内子町を持続可能な自治体としていくためには、住民との協働によって、自治力を高めていくことが必要です。再生可能エネルギー戦略や第3ステージに入ったLAS-Eを活用し、内子町の自治力を高める取り組みを今後ともお願いします。
3	教育長	環境こども会議に住民や保護者の参加を増やすような方策をご検討ください。
4	総務課	構築中のボランティアホリデーについて、実施時期や場所など、良い方法が見つかることを期待しています。
6	住民課	窓口での受付業務が主であるため、第3ステージや独自目標以外の取り組みは難しい部署であるとのことでした。
7	うちこ福祉館	地域住民との連携もとれており、職員の目標理解度も高いです。施設利用者も職員も協働の意識を持ち、施設を大切にしようとする姿勢も見られます。今後とも、地域との連携を心がけ、施設のみならず、地域全体で環境に対する意識を高めてください。
12	建設デザイン課	公共事業環境配慮チェックシートの記入内容を確認したところ、「ー」として対象外になっている項目がありますが、適切かどうか再点検してください。例えば、子育て支援センターの設計段階で「ユニバーサルデザインの検討」が配慮項目から外されていることが気になりました。
13	環境政策室(現場)	町民からの要望に適切かつ迅速に対応され、町民から顔の見える部署であると感じられ、非常に質の高い業務を行っていると感じられました。非常に優秀であるが故に頼られすぎて行政依存にならないよう注意しつつ、各住民グループの活動を更に育てていかれるような支援や協力関係の維持を引き続き期待します。

14	環境政策室(集合)	<ul style="list-style-type: none"> ・セミの抜け殻調査の結果を住民に分かりやすく報告していただくことを期待しています。 ・緑のカーテンコンテストの応募者が少なかったことは残念でしたが、保育園児がフーセンカズラの種をおじいちゃん・おばあちゃん参観日にプレゼントするなど活用されていました。
16	町並・地域振興課	ホテルの問題について、協力体制はできていますが、もう少し話し合う必要があると思います。
18	ビジターセンター	ねき歩き、エコツアーなど、今後期待できる取り組みがあったので、実現に向かって進んでください。
20	産業振興課(集合)	<ul style="list-style-type: none"> ・内子炭の再生事業については、クヌギ林を保全する方法も検討されているようですので、今後の推移を見守りたいと思います。 ・木こり市場は出荷者からも商店からもニーズがあるようですが、補助金の都合で上限があり残念です。 ・全般に言えることですが、予算がつかなくても啓発活動は継続してください。
27	大瀬保育園	良い取り組みが多いので、今後とも地域の方と取り組みを続けられることを期待します。一方で、地域協働に目を向けるというよりも、毎年のルーティーンをこなすことで精いっぱい、という雰囲気も感じられました。地域内の結びつきを強め、そのつながりを活かせるような取り組みへと深化させていただければと思います。
31	内子児童館・子育て支援センター	花紙をおこぼし拾いとして利用したり、窓拭きに新聞紙を利用してみたりと、独自の取り組みを考え出す姿勢が良かったです。
32	五十崎児童館きらり	廃棄物削減のため、駄菓子のトレーを細かく切って排出するごみ袋の数を減らしたということですが、重量には影響しないので、他の方法も検討してみてください。
37	参川幼稚園	「緊急事態における環境配慮チェックシート(A票)」で記入した内容については、不測の事態に備え、職員間で確認をお願いします。
46	参川小学校	第3ステージを意識し、地域と協働で活動が行えていました。
50	大瀬中学校	緑のカーテンの際、水や利用の水道水がもったいないという意見がありました。池の水を汲んできたり、工夫が見られたならもっと高評価だったと思います。
52	小田中学校	学校移転を控え、特別教室に集約して分別を行っており、準備作業の大変さが伺われました。
57	内子東自治センター	地域団体への協力体制がしっかりとしているように思えました。
60	小田自治センター	<ul style="list-style-type: none"> ・LAS-Eの取り組みを淡々とこなしていました。 ・落ち葉の配布など、独自の取り組みを考えていました。
61	社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・出先機関との連携でエコ見回り隊の活動を今後も広げていくことを期待します。 ・交通手段の使い分けについては、公用車の利用と公共交通の利用を温室効果ガスの排出とも関連させて比較し、可能な限り公共交通機関を利用するよう検討されることを期待します。
62	みどり苑	町民組織と強調しての取り組みができており、その他項目についても問題ありませんでした。
63	神南荘	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス面、事業面を重視し、エコ活動よりもコストのことが気になっているという発言が多かったです。事業をやっているからには、そういう考え方にならざるを得ないようです。 ・ペレット価格が高い(他県の2倍という話を聞いた)ので価格の見直しをしてほしい、ペレットボイラーが海外製で修理の費用や期間がかかり取り扱い説明も日本語表記でないなど日本製のほうがコストダウンになるのではないかと課題をよく捉えています。 ・ペレットボイラーを設置はしましたが、老建施設という環境に適していません。利用者が増えるという期待でしょうか。 ・地域との連携という点で、神南荘独自の取り組みをあまり聞き取れず残念でした。
64	内子フレッシュパークからり	視察者へ生ごみから作られる堆肥についてPRするなど、職員の環境に対する意識向上の様子が見られました。
65	小田の郷せせらぎ	マイバッグ・マイ箸について、レジでのPOP以外の呼びかけ方法があればさらに定着すると思われると思います。ご検討ください。
66	事務局	自治会のエネルギー使用量の把握が難しいことが分かりました。何らかの解決策が見つかることを期待しています。